

# 学力向上・体力向上を推進する 阪南市教育委員会の取組

(平成 31 年度全国学力・学習状況調査結果分析報告より抜粋)



令和 2 年 3 月

阪南市教育委員会事務局 生涯学習部 学校教育課



# [ 目 次 ]

ページ

## 1. 学力向上・体力向上のための取組

- 1-1 よりよい生活習慣の定着から子どもの学力向上をめざします・・・1
- 1-2 よりよい生活習慣の定着を図り学習意欲や体力の向上をめざします・・・2
- 1-3 家庭学習の充実を図り学力向上につなぎます・・・3
- 1-4 A L T の拡充と英語劇を通して英語教育を充実させます・・・15
- 1-5 海洋教育を通して主体的に課題を解決する力を育みます・・・17
- 1-6 研究先進校の授業を視察し授業改革を前進させます・・・18
- 1-7 公開研究授業により改革の成果を波及します・・・19
- 1-8 学力向上研修により各校の授業研究の質を向上させます・・・20
- 1-9 指導主事がチームを組み校内授業研究を支援します・・・22
- 1-10 教育フォーラムを開催し授業改革を実現します・・・23
- 1-11 少人数指導により、きめ細かな指導の充実を図ります・・・24
- 1-12 初任者教員の指導力向上をめざす校内体制の整備を図ります・・・25
- 1-13 学校図書館専任司書との連携により読書活動を言語能力の育成につなぎます・・・26
- 1-14 学校図書館を充実・活用するためのモデル事業を推進します・・・27

## 2. 自尊感情を高め、地域や社会との関わりを深めるための取組

- 2-1 生徒会サミットにより主体性を育み自己有用感を高めます・・・28
- 2-2 人権教育を通じて「学びに向かう力」を充実させます・・・29
- 2-3 「考え、議論する道徳」を通して自尊感情を育みます・・・30
- 2-4 地域社会とともに新しい時代に必要となる力を育みます・・・31

阪南市の教育イメージ図

**私はできる！ 私もだいじょうぶ！  
私は人の役にたっている！**

～ すべての子どもが自分らしく輝くことをめざして～

学力向上

体力向上

授業や活動、地域の中で  
子どもたちを  
エンパワーメント

ICT 環境の整備

学力向上事業

子ども福祉委員の活動

海洋教育パイオニアスクール

スクールソーシャルワーカー

初任者の授業力向上

校内研修の充実

OJTによる授業力向上

学校図書館モデル事業

市教育フォーラム

公開研究授業

英語劇の鑑賞

ALT の増員

授業に集中できる業務改善

スクールカウンセラー

学習支援員の配置

インクルーシブ教育

自ら学ぶ教師集団

学校図書館専任司書

先進校視察

**学力・体力の  
幹を太く！**

教員の授業力向上  
授業をより良く変える  
研究と実践

- 家庭学習の改善
- スマホやゲーム使用時間の改善
- 朝食・喫食率の改善
- 睡眠の改善

**みんなの力で生活改善**

保護者・PTA 組織・市民・諸団体の理解と協力  
教員の子どもたちへの指導、市立図書館、給食センターの取組

## 1-1 よりよい生活習慣の定着から子どもの学力向上をめざします

### 課題意識

近年の全国学力・学習状況調査の結果から、阪南市の子どもの生活のいくつかの課題が、学力に影響している可能性があることが見えてきました。阪南市教育委員会では、①家庭学習の時間をしっかりと ②スマホやゲーム、メールやSNSなどを使いすぎないこと ③寝る時間をできる限り毎日同じ時間にすること ④毎日朝ごはんを食べることの4点が重要だと考えています。阪南市教育委員会では、生活改善リーフレットを作成し、このリーフレットを市内各校園所や自治会の回覧板などに配布することで、保護者や市民の意識の向上を図り、子どもの学力の向上を後押ししています。

### 子どもの生活改善を図る主な取組

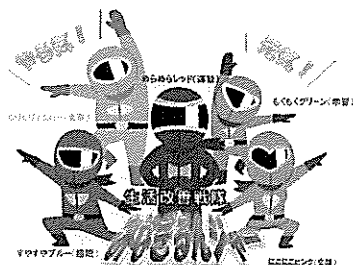
- ・生活改善リーフレット「Let's チャレンジ！生活改善！！」を第1号から第7号までを幼稚園・保育所・認定こども園・私立幼稚園・小中学校等から全家庭に配付
- ・生活改善戦隊みなぎるんジャーを作成し、敵キャラクターを市民から募集し、リーフレットにて紹介。PTA 講演会や市教委行事で使用をお願いし啓発
- ・早寝早起き全国協議会の冊子を幼稚園、小学校、中学校に配付し啓発
- ・市の「広報はんなん」にて「生活改善について」と「東鳥取小学校の取組について」を紹介
- ・阪南 TV 第1回放送、第6回放送にて生活改善について放映
- ・鳥取東中学校にて、「早寝早起き推進校事業」を実施
- ・学校教育自己診断アンケートに統一項目を追加し、変容を数値化して分析



広報はんなん (H31.1月号)



朝食づくり実習



生活改善戦隊みなぎるんジャー

### 成果と今後の方針

近年の取組により、朝ごはんや寝る時刻、起きる時刻について改善の傾向が見られます。よりよい生活習慣を定着させるには時間がかかることも事実ですが、今後は、好ましい変化が見られた校園の取組を各校園と共有し、阪南市全体のより良い生活習慣の定着をさらに後押ししていきます。今後もより良い生活習慣の定着を通し、家庭学習の時間と家族の時間を大切にできる子どもを育てます。

## 1-2 よりよい生活習慣の定着を図り学習意欲や体力の向上をめざします

### 課題意識

近年の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、全国平均に比べ、阪南市の子どもたちの体力には課題があることがわかりました。阪南市では、生活改善リーフレットを作成し、広く市内各校園所や自治会の回覧板などを通じて配布し、朝ごはん喫食率の向上や寝る時刻、起きる時刻を安定させることで、体力向上や学習意欲の土台となる日常生活の改善を進めています。また、大学と連携した体力測定の講習会の開催や大阪府の体力づくり事業の活用などを通して、子どもたちの体力向上をめざしています。

### 子どもの体力向上を図る主な取組

新体カテストの測定に関する研修 講師：和歌山大学教育学部 本山 貢 教授（H29.6月 H30.3月）

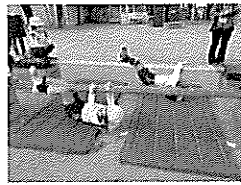
オリンピック派遣事業の活用 指導：乾 絵美 先生（女子ソフトボール金メダリスト）（H30.1月）

新体カテストの測定に関する実技講習会 講師：和歌山大学教育学部 本山 貢 教授（H30.6月）

トップアスリートふれあい事業の活用 指導：堺プレイヤーズ（プロバレーボール）（H30.9月）

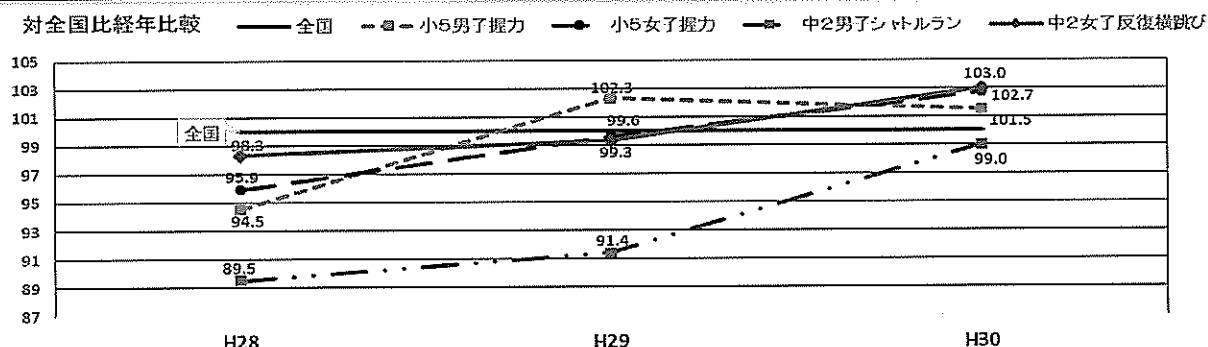
子どもの体力づくりサポート事業の活用 講師：和歌山大学教育学部 村瀬 浩二 教授（H30.11月）

体育の授業かかわる！簡単プログラムの活用研修 講師：大阪体育大学 小林 博隆 准教授（R1.8月）



大阪府教育庁作成

### 体力の向上がみられた主な項目（全国体力・運動能力、運動習慣等調査より）



### 成果と今後の方針

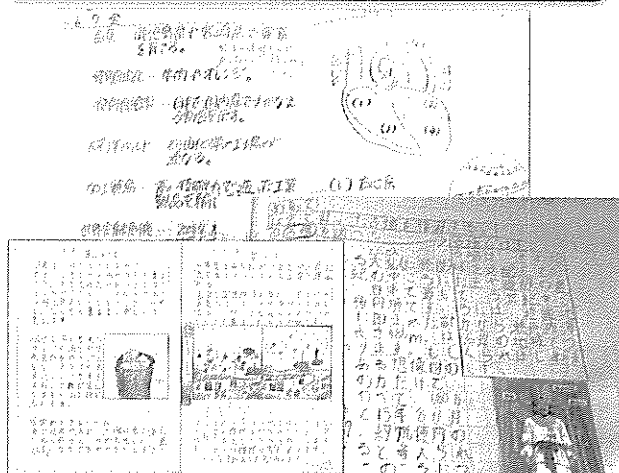
近年、体力向上の取組を進める中で、全国体力・運動能力、運動習慣等調査においても全国平均を超える項目が増えてきています。今年度は、大阪府の小中連携教科指導事業を活用し、中学校の専門的な指導力を持つ教員と小学校教員の合同研究による授業づくりを推進しています。これからも子どもたちの体力づくりに係る課題を把握するとともに、大阪府事業の活用や実技講習会、教員研修等を引き続き実施し、子どもの体力づくりを推進していきます。

## 1-3 家庭学習の充実を図り学力向上につなぎます

### 課題意識

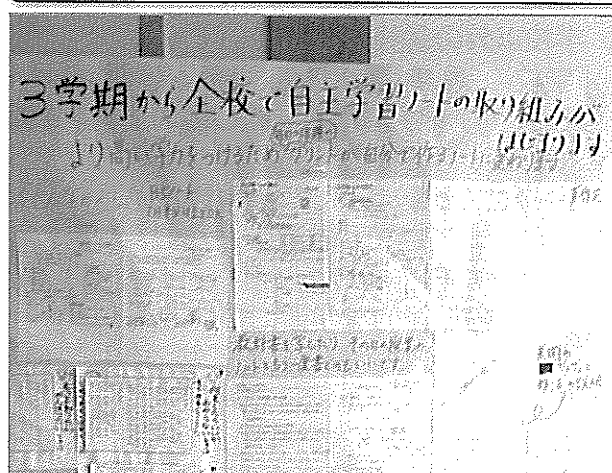
過去の全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問に対して、「30分より少ない+全くしない」と回答をした阪南市の子どもを全国平均と比べると、平成29年度の中学生は2倍、平成30年度の小学生は約2.8倍と大変厳しい結果となりましたが、平成31年度は、全国平均と比べるとやや多いものの大阪府平均より下回り、小・中学校ともに大きく改善しています。近年、阪南市では、家庭で自学自習する習慣の定着をめざし、「自主学習ノート」の取組を進めています。

### 自主学習ノート



スクール・エンパワーメント推進校における自主学習ノートの取組

### 自主学習ノートの校内掲示



スクール・エンパワーメント推進校における公開研究授業掲示物

### 成果と今後の方針

平成31年度の全国学力・学習状況調査結果から、学校の授業時間以外で学習に費やす時間は、全国平均に近づいており、改善傾向にあります。また、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して肯定的な回答をした児童・生徒の割合も小・中学校ともに昨年度を上回っています。平成29年度より大阪府教育庁によるスクール・エンパワーメント推進事業実施校を中心に進めてきた自主学習ノートの取組は、公開研究授業や学力向上担当者研修における実践報告等を通じて、市内の他校にも波及してきています。今後も家庭における児童・生徒の自律的な学習の充実を図る取組をいっそう前進させ、学力向上につなげていきます。

## 生活改善の取組の効果検証について

(平成31年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査結果の分析より)

平成31年度 全国学力・学習状況調査における児童・生徒質問紙調査結果の分析より、生活改善の取組と関わって、特に成果が数値として見えてきたいくつかの項目について紹介します。

### ① 寝る時刻について

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問に対して、「している」「どちらかといえばしている」と肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、平成30年度の調査よりも大きく向上しました。さらに、「同一集団」を比較した場合、つまり、平成28年度の小学6年生が、平成31年度の中学3年生ですので、この同じ子どもたちがどう変化したのかを見ますと、平成28年度の小学生の寝る時刻の肯定的な回答は、対全国比（全国平均を100%とした場合）、78.5%でしたが、同じ子どもたちが平成31年度に中学3年生になった時には、対全国比89.9%まで向上していることがわかりました。

### ② 学校以外の勉強時間について

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」の質問に対して、「30分より少ない」と答えた子どもと「全くしない」と答えた子どもの割合を合わせて比較すると、小中学校ともに平成30年度の調査よりも大きく全国平均に近づき、改善してきています。さらに、先ほどの同一集団で見ても、同じ子どもたちが、平成28年度から平成31年度へと20ポイント以上改善していることがわかりました。

### ③ 家庭での自律的な学習について

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、「している」「どちらかといえばしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに平成30年度の調査よりも大きく向上しています。さらに、同一集団で見ても、同じ子どもたちが、平成28年度小学6年生の時の対全国比78.8%から平成31年度中学3年生になった時に対全国比100%（全国平均と同じ）へと20ポイント以上向上していることがわかりました。

### ④ 読書の時間について

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」の質問に対して、「10分以内」と答えた子どもと「全くしない」と答えた子どもを足してその割合を比較すると、小中学校ともに平成30年度の調査から大きく向上しています。さらに、同一集団で見ても、同じ子どもたちが、平成28年度から平成31年度へと30ポイント程度向上していることがわかりました。

以上、4つの質問項目について見ましたが、その他の質問についても、同一集団比較という視点から見ると、向上している項目が複数ありました。中でも特に、平成30年度から進めてきた、家庭での生活改善と家庭での自学自習の取組に係る質問項目が数値のうえでも、成果として表れ始めているのではないかと考えています。今後も取組の充実と効果検証を継続するとともに、効果の高い取組を把握・分析しながら次の施策へと発展させていきます。



# Let's チャレンジ！生活改善！！

平成30年7月 第1号

阪南市教育委員会

近年の全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果から、  
阪南市の子どもたちの生活にいくつかの課題があることが見えてきました。

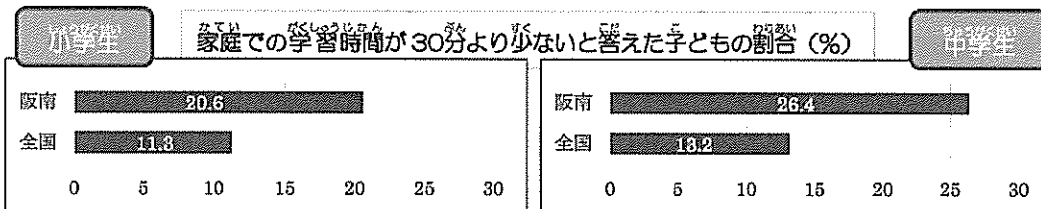
阪南市教育委員会では、

- ①家庭学習の時間をしっかりもつこと
  - ②スマホやゲーム、メールやSNSなどを使いすぎないこと
  - ③寝る時間をできる限り毎日同じ時間にすること
  - ④毎日朝ごはんを食べること
- の4点が重要だと考えています。

保護者のみなさんとともに、子どもたちの生活を改善するために「Let's チャレンジ！  
生活改善！！」と題したお便りを発行しました。

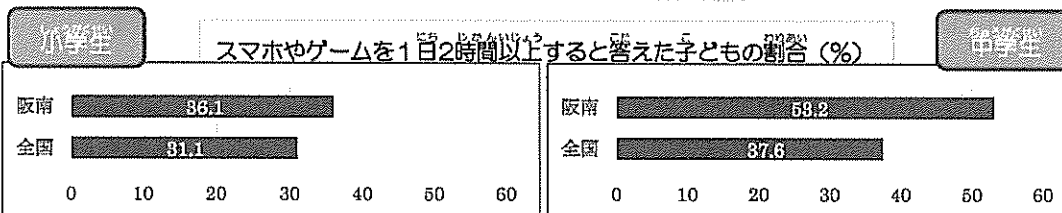
ぜひ、お子さんと一緒に読んでみてください。

## 家庭学習の時間を大切に！



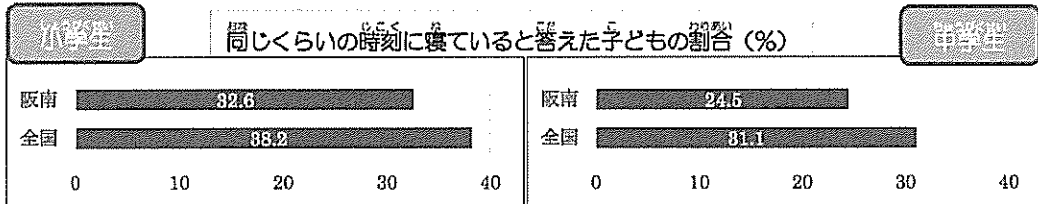
家庭学習の時間が30分より少ないと答えた子どもの割合は、小学生、中学生ともに全国と比べて約2倍となっています。宿題以外にも予習、復習をするなど家庭学習を計画的に行うことが大切です。

## スマホ・ゲームのやりすぎ注意！



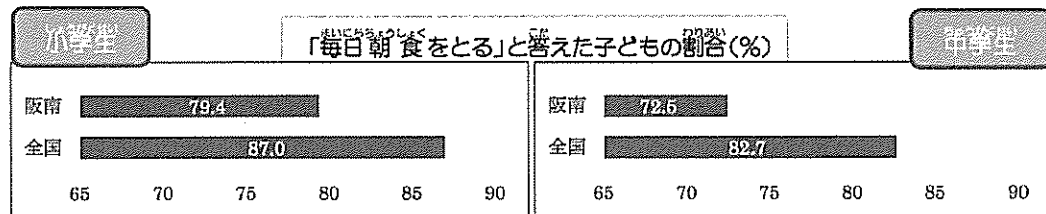
一日に2時間以上スマホやゲームをする子は、小学生で3割以上、中学生で5割以上という非常に高い結果となっています。スマホやゲームをするときのルール設定が必要です。お子さんともう一度ルールの確認をお願いします。

## 寝る時刻を規則正しく！



毎日同じくらいの時刻に寝ていると答えた子の割合は、小学生で約3割、中学生で約2割と  
なっています。就寝時刻が不規則になることで、イライラする、攻撃性が高まるなど情動面に  
影響があると言われています。毎日同じくらいの時刻に寝ることができるように生活リズムを  
整えることが大切です。

## 毎日食べよう朝ごはん！



小学生の約2割、中学生の約3割の子が、朝ごはんを食べずに登校する日があるという  
結果となっています。朝ごはんを食べないことで集中力、記憶力の低下など様々な影響があ  
ると言われています。朝ごはんを毎日食べるという習慣をつけることが大切です。

子どもたちの生活改善が、学習・運動への意欲や集中力の向上につながり、やる気も  
もって物事に取り組むことができると阪南市教育委員会では考えています。

次号（9月に発行予定です）では、具体的な取組について、お知らせしていきます。  
阪南市の宝である子どもたちの健やかな成長に向け、ともに取り組んでいきましょう。

できることからやってみよう！



【資料中グラフは、平成29年度学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙より作成】

# Let's チャレンジ! 生活改善!!

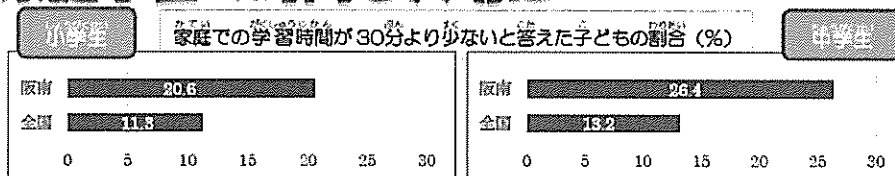
平成30年9月 第2号

阪南市教育委員会

阪南市教育委員会では、子どもたちの生活について、①家庭での学習時間をしっかりもつこと ②スマホやゲーム、メールやSNSなどを使いすぎないこと ③できる限り毎日同じ時刻に寝ること ④朝ごはんを毎日食べることの4点が重要だと考えています。

今回は、家庭学習とスマホやゲームの使用についてお知らせします。

## 家庭学習の時間を大切に!



(平成29年度学力・学習状況調査 発達・生徒調査より)



### 家庭学習の第一歩は学校から出される宿題です。

宿題を自分一人のできる子と、一人でするのが苦手な子があります。そばで見守る、終われば点検するなど、お父さんの状況に応じてサポートしてあげましょう。

### 習はとても大切です。

人間はコンピュータではありません。その日の学習が一度で定着することは難しいです。文部科学省の調査(※)によると、学校の授業の復習をしている子どもは学力が高いことがわかりました。「今日どんなことを学んだのか」教科書を見返すことや、練習問題をもう一度やってみることが大切です。ご家庭でその日の学習についてお話しすることで、学習に向かう意欲が高まります。(※平成29年度全国学力・学習状況調査を基にした専門的な調査機関に関する調査研究より)

### 毎月23日は家庭読書の日です。

絵本も含めて本を読むことも大切な家庭学習です。お家の人もお子さんと一緒に読書をしてみませんか。文字に親しむことで学力の向上につながるという調査結果も出ています。

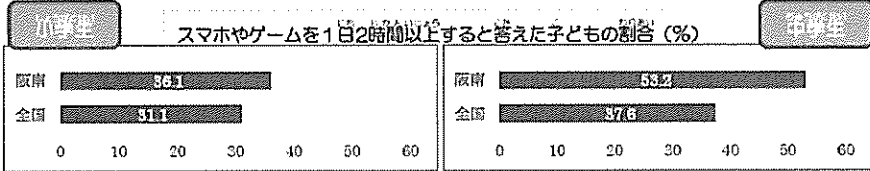
### 時間を決めて毎日学習をする習慣をつけましょう。

学習する時間を決めて「やってみること」が大切です。テレビを消すなど、学習に集中できる環境を整えてあげましょう。

### ほかの子どもとの比較はやめましょう。

学習への意欲は子どもの自尊心と大きな関係があります。反だちや兄弟姉妹と比較することで自尊心を傷つけ、意欲の低下につながることもあります。子どもが頑張ったことはしっかりとほめ、意欲をなくしているときは励ましてあげましょう。

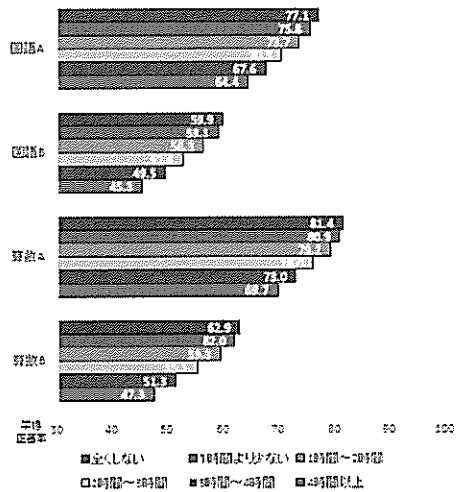
# スマホ・ゲームのやりすぎ注意!



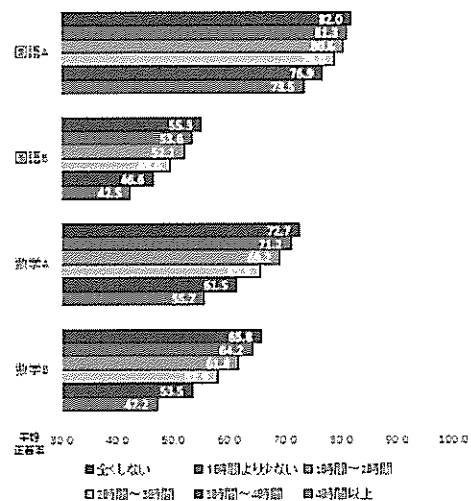
(平成29年度学力・学習状況調査 児童・生徒負担率より)

ゲームの時間の長さや、スマートフォンなどの利用時間の長さが学力に影響しているという調査結果が出ています。

【小学生】ゲームの時間と平均正答率との関係



【中学生】スマホの利用時間と平均正答率との関係



(文部科学省 国立教育政策研究所 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果のポイントより)



携帯電話やスマートフォンの普及で、とても便利な世の中になりました。スマートフォンを持たない、使わない、動画を見ない、ゲームを全くしないということは、難しい時代かもしれません。しかし、使い方を決めなければ、どんどん「依存」してしまい、寝不足からイライラしてしまうことや、学力低下につながることもあります。お子さんがゲームやスマートフォンとうまくつきあっていくことが大切です。

こんな声を聞いてませんか?

試験にして、返事送さへんかったらみんなに怒られるんよ。すぐ返さなアカンのよ!

昨日もゲームをやりすぎて、寝るのが遅くなっちゃった。まだ布団からでたくないなあ。

朝起きたら未読1000件とかありえへん! 朝から疲れるわ。

「おもしろくない」って「?」1つつけ忘れただけでこんなにケンカになるん?

こんなにいっぱいSNSのグループに入らないといけなるとか知らなかった。

全部読いたら夜中の2時やし! どうやって会話終わらせたらいいんやろ〜。

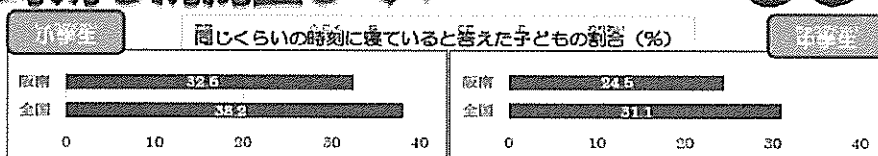
# Let's チャレンジ！生活改善！！

平成30年12月 第3号  
 阪南市教育委員会

阪南市教育委員会では、子どもたちの生活について、①家庭での学習時間をしっかりもつこと ②スマホやゲーム、メールやSNSなどを使いすぎないこと ③できる限り毎日同じ時刻に寝ること ④朝ごはんを毎日食べることの4点が重要だと考えています。

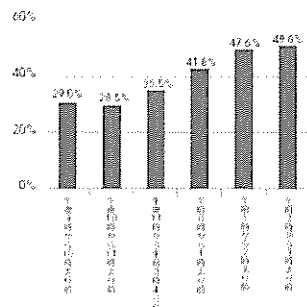
今回は、規則正しい就寝時刻と朝ごはんについてお知らせします。

## 寝る時刻を規則正しく！



(平成29年度学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙より)

何でもないのでイライラすることがあると答えた中学生の割合



この日に調査された中学生の割合です。調査結果は全国平均と比較されています。

### 驚きもリスク

- 睡眠障害
- 高血圧や糖尿病、肥満
- うつ病
- 集中力ややる気の低下

### 先に試すには？

- 決まった時間に起きる
- 朝起きたら太陽の光を浴びる
- 朝食を食べる
- 眠る前にブルーライト（パソコン、スマホ、タブレットなど）の強い光を浴びない

### できることからやってみよう！

- ★週に1度は早く寝る日を設定してみる
  - ★週に1度は晩ご飯を食べた後はスマホを触らない
- 次の日の寝覚めの良さを感じてみよう！



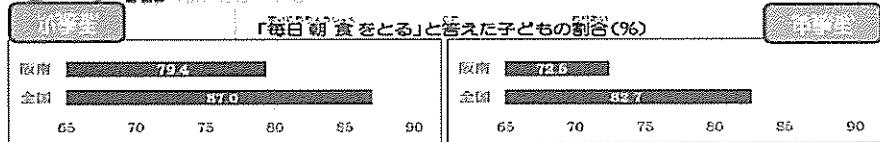
### 学校薬剤師さんより

成長ホルモンは、成長期にもっとも多く分泌され、背が伸びるなど体の成長に働きます。睡眠中は、成長ホルモンが最も多く分泌されるタイミングです。成長ホルモンの分泌を最大限にするためには、毎日決まった睡眠のリズムで寝ることが大切です。「毎日決まった時間に寝て起きる」睡眠のリズムを保ち続けることが重要なのです。

寝る前にスマホやパソコンの画面を見ていると、寝つきが悪くなり、睡眠の質も低下してしまうため、成長ホルモンの分泌を妨げてしまいます。スマホなど画面が明るいものは、太陽が上がっている時間に使用するようにしてください。

また、今日一日働いた脳を休ませるためにも質の良い睡眠が必要です。眠っている間に脳は記憶の整理をします。記憶は睡眠中にこそ定着するのです。テストの前に夜更かしして勉強しても、記憶は定着していません。本当の知識にはなりません。普段から「学習は太陽が上がっている時間に、そして夜はしっかりと眠る」ことを習慣とし、体と脳の健康を作りあげていきましょう。

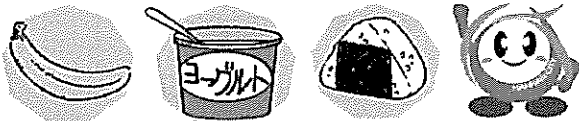
# 毎日食べよう朝ごはん!



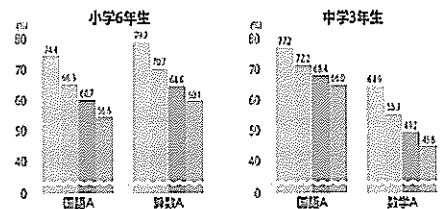
【平成29年度学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙より】

時間がない人、食欲がわかない人は、  
まず朝ごはんを食べる習慣をつけましょう。

少しだけ早く起きて、バナナ1本、ヨーグルト1個、おにぎり1個(ご飯にふりかけ、卵かけごはん、お茶漬けなどでもOK)、トースト1枚、少しでも食べるところから始めましょう! 水分補給も忘れずに!



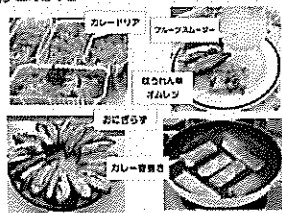
## 学力調査の平均正答率



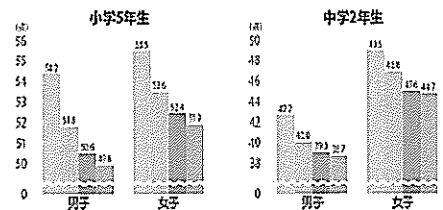
◎ 毎日食べている    ◎ どちらかといへば、食べている    ◎ あまり食べていない    ◎ 全く食べていない  
出典: 文部科学省「平成29年度学力・学習状況調査」

## 楽しく作ろう! 自分で朝ごはん!!

中学生が委員会活動で、「自分で作る朝ごはん・昼ごはん」の調理実習をしました。レトルトカレーでドリアや巻き寿司を作るなど、ちょっとした工夫でレストランの味を自宅で味わうことができるという感想もありました。



## 体力合計点



◎ 毎日食べている    ◎ 食べない日もある    ◎ 食べない日が多い    ◎ 毎日食べない  
出典: スポーツ庁「平成29年度体力調査」

## 小学生だって自分でできる!!

朝ごはんを作る調理実習をした小学校があります。右の写真は3年生が作った「おにぎらず」です。ご飯の中好きな具材をはさんでお手軽メニューです。作り方は「広報はんなん」1月号でも紹介されます。調理実習の後、「自分で朝ごはんを作ろう」という宿題がありました。自分で作って食べるだけでなく、おうちの人にも食べてもらったそうです。



### ★朝ごはんを作る宿題の感想★

もっと自分でいろんなものをつくれるようになりたいです!!

上手にできてうれしいです。もっと、赤・黄・緑をそろえて元気いっぱいになりたいです!

とてもおいしい朝ごはんでした。また作ってね。

宿題者の声

子どもの声

思っていたより大変で、煮ている間待ち遠しかった!

自分で作って食べる楽しみを味わえて、嬉しそうに見ていて微笑ましいです。

自分で作った朝ごはんはいつもよりたくさん食べていました。

# Let's チャレンジ! 生活改善!!

平成31年3月 第4号

阪南市教育委員会

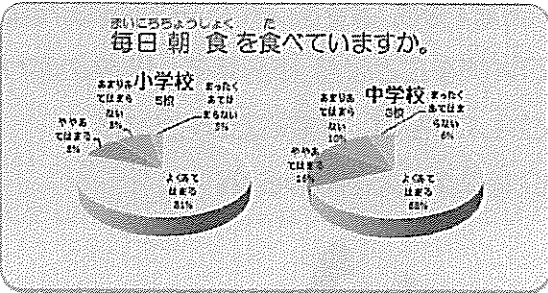
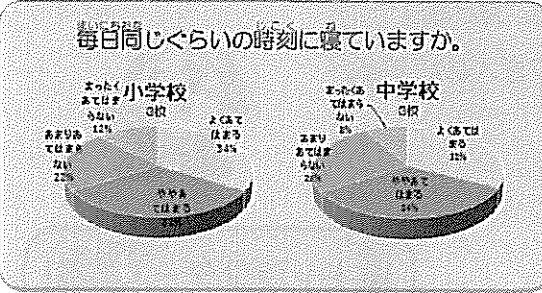
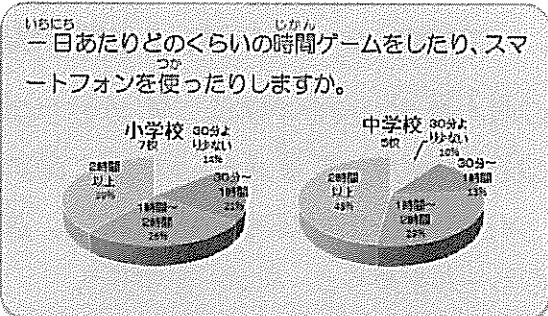
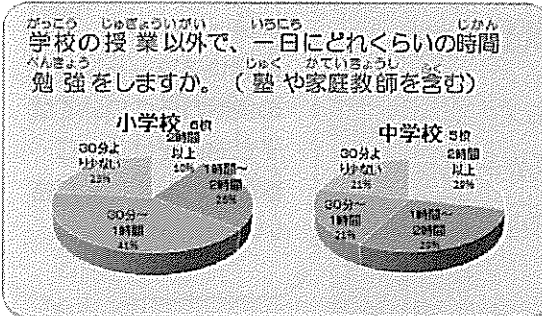
阪南市教育委員会では、子どもたちの生活について、①家庭での学習時間をしっかりもつこと ②スマホやゲーム、メールや SNS などを使いすぎないこと ③できる限り毎日同じ時刻に寝ること ④朝食は毎日食べることの4点が重要だと考えています。

## 平成30年度 小中学生の生活の様子



平成30年度、阪南市内の小中学校で実施したアンケート結果をもとに作成したグラフです。

(小学校は5・6年生、中学校は1・2・3年生が回答)



今回の結果からも「学校以外の勉強時間が30分より少ない」児童・生徒が20%程度いることがわかります。その日に学習したことを定着させるための宿題や、次の日の授業のための予習、また自主的に興味のあるものを学習する自主学習など、計画的に勉強をすることが大切です。

また、1日2時間以上勉強をする児童・生徒よりも2時間以上ゲームをしたり、スマートフォンを使ったりする児童・生徒の方が多ことや、毎日同じ時刻に寝ず、毎日朝食を食べていない児童・生徒も一定数いることがわかります。

規則正しい生活を送ることや、一日の時間の使い方を考えることは、大人になっても必要な力です。ぜひ、お子さんと一緒にお考えください。

わたしたちも一緒に考えます!!





# ちゅうがくせい 中学生も しんけん 真剣!

平成31年2月14日、市内5中学校の代表生徒の集まる阪南市中学校生徒会サミットで、「中学生が考えるスマホ・ケータイ・ネットの使用ルール」というテーマについて、一生懸命話し合いました。代表生徒の中でも、「どんなルールが必要だろう?」「マナーってなんだろう?」「いじめに関するルールってどうすればいいのかな?」「個人情報を守らないと」「大事なことはやっぱり直接話さないと伝わらないよね」などたくさんの意見が出ました。今回のサミットでは、話し合いの中から出てきた意見を6つに分けました。この後、各校に持ち帰り、継続して考えることとなりました。

平成30年度 阪南市の中学生が考えた

## スマホ・ケータイ・ネットの使用での大切なこと

- 個人情報(自分で守る。流出させない。)
- 相手の気持ちを考える。いじめに関するルール。  
メッセージのやり取りに気を付ける。送信前に確認する。
- ルールを作ろう。マナーを守ろう。  
(時間を守る。課金をしない。テスト期間は保護者に預ける。)
- 大事なことは直接伝える。直接の関わりを大切にする。
- 大人に相談。詐欺にだまされない。
- 知らない人と関わらない。

子どもたちも課題意識を持っています。携帯電話やスマートフォンの使用方法については子どもに任せず、ご家庭で、お話しください。



## てき 敵キャラクター大募集!

よりよい生活習慣の定着をめざし、「生活改善戦隊みなぎるんジャー」はみんなの生活を悪くしようとする敵をやっつけます。応募していたただいたキャラクターは、次年度発行予定の「Let's チャレンジ! 生活改善!!」リーフレットで紹介していきます。応募用紙は4月に校舎所で配布します。阪南市のHPにもアップします。多数のご応募、お待ちしております。

春休みに考えておいてね!





# Let's チャレンジ！生活改善！！

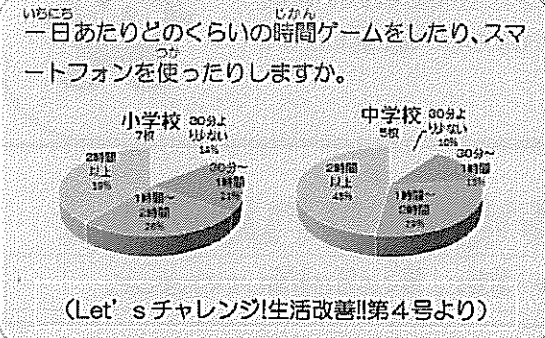
令和元年7月 第5号

阪南市教育委員会

阪南市教育委員会では、子どもたちの生活について、①家庭での学習時間をしっかりもつこと ②スマホやゲーム、メールや SNS などを使いすぎないこと ③できる限り毎日同じ時刻に寝ること ④朝ごはんを毎日食べることの4点が重要だと考えています。

今回はスマホやゲーム、メールや SNS の使用時間について考えていきます。

## いちにち じかん つか かた かんが 一日の時間の使い方を考えよう

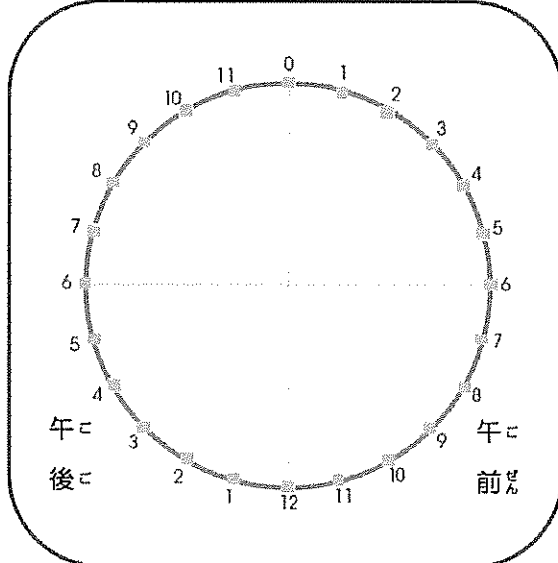


小中学校の子どもたちの『自由になる時間』はどれだけあるのでしょうか。

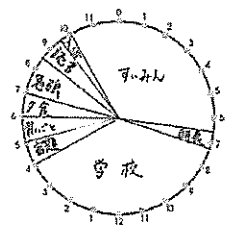
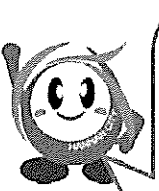
まず、帰宅してから、寝るまでの時間は何時間あるのか考えましょう。子どもたちの理想的な睡眠時間は、6歳から12歳までは「9～12時間」、13歳から18歳までは「8～10時間」と言われています。そう考えると、午後9時、10時までに寝ることが必要です。学校から帰宅するのは、午後3時から4時なので、5～7時間が『自由になる時間』となります。

その中で、宿題や日々の学習の時間に1～2時間、食事、入浴にそれぞれ30分ずつの時間が必要ではないでしょうか。火によってはクラブや習い事の時間も必要だと思います。

左のグラフを使って、どれだけの時間をゲームやスマートフォンのために使えるのか、調べてみてはいかがでしょうか。



いちにち じかん つか かた  
一日の時間の使い方グラフ



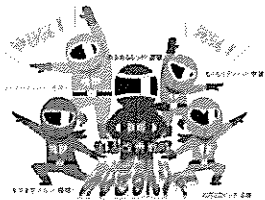
こんなふうに使いましょう！

# なぜ、ゲームやスマートフォンに2時間も使ってしまう？

第4号でもお伝えしましたが、小学生で39%、中学生で48%の子どもたちが「一日あたり2時間以上、ゲームやスマートフォンを使っている」という結果が出ています。子どもたちはなぜ、それだけの時間を費やしてしまうのでしょうか。

友だちと繋がりたい、朝日の友だちとの話題に乗り遅れたくない、他に楽しいものがないなど、子どもたちそれぞれに理由はあると思います。これからの情報化社会の中で、スマートフォンなどの情報機器は、私たちの生活に、さらに浸透していくと予想されます。

そのような社会の中でスマホやケータイにふりまわされず、いかにうまく付き合っていくかということが大切です。昨年度発行した第4号（阪南市HP参照）では中学生たちが『スマホ・ケータイ・ネットの使用での大切なこと』を考えてくれています。各家庭の状況に合わせたルールについて、子どもたちと一緒に話し合ってみてください。



## てきあそび 手ごわい敵が現れたぞ！！

敵キャラクター募集に、多くの方が参加してくれました。



賀部中学校  
辻 杏菜 さん

「不摂生ダー」

みなぎるんジャーの生活改善に立ちはだかる5強敵。



ペンネーム  
森のリス さん

「ワルフォン」

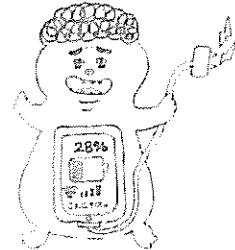
普段は便利でいいやつだが、使い方を間違えると大層に悪い影響を写るワルフォンに誘導する。



ペンネーム  
愛子さん

「くまくまちゃん」

スマホのやり過ぎでいつも寝不足のため、目の下にクマができていくくまちゃん。無知だが、スマホゲームで負けるとすごくおこりだす!!



アルン西尾取夢学園  
匿名希望 様 より

「怪人スマホーン」

- ・おとなしい性格だがエネルギーが足りないと大暴れする。
- ・寝不足で顔色が悪く、クマがある。目が悪い。
- ・入館のやる気スイッチを探し、エネルギーを吸い取る。
- ・ブルーライト攻撃!!
- ・会話は通じず。



次号でも、たくさんの強敵を紹介していくぞ!!

## 1-4 ALTの拡充と英語劇を通して英語教育を充実させます

### 課題意識

加速度的に進むグローバル化の中で、世界共通語である英語力の向上は喫緊の課題です。今年度、全国学力・学習状況調査に新たに調査に加わった中学校英語の結果は、全国および大阪府の結果を下回る厳しい結果となりました。また、「英語の勉強は好きですか」の質問においても、全国よりも6ポイント低いという結果が出ています。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用して実際のコミュニケーションを行う言語活動をいっそう重視するとともに、積極的に英語を使おうとする態度の育成が必要です。

### 外国語教育を取り巻く主な環境の変化

#### ○小学校における外国語教育

- ・平成29年 小学校学習指導要領 告示（平成30～31年 移行期間）

小学校に『外国語科』の導入 3・4年生『外国語活動』年間授業時数35時間

5・6年生『外国語科』年間授業時数70時間

#### ○中学校における外国語教育

- ・平成31年度全国学力・学習状況調査に導入

#### ○外国人指導助手（ALT）の配置拡充

- ・平成31年度 小学校 年間30日 中学校20日
- ・令和2年度 小学校 年間35日 中学校100日（予定）

小学校の英語活動教材



小学校『外国語科』の教科書

### 成果と今後の方針

これまでのALT（英語指導助手）派遣事業により、ネイティブの英語に触れながら英語学習を進めてきましたが、さらに来年度からは、JETプログラムを活用したALTの配置拡充により、日常的にネイティブの英語に触れながら学ぶ時間を大幅に増やし、積極的に英語を用いてコミュニケーションを図る授業づくりを進めます。また、劇団KIOとの連携により、令和2年度に全ての小学校において英語劇を観賞し、子どもたちがわくわく楽しみながら英語と出会うことで『英語って簡単に話せる』『英語をもっと話したい』と、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をめざします。さらに、文部科学省の事業を活用しながら、1人1台のパソコン導入の早期実現をめざすと同時に、ICTによる英語学習アプリ等を活用した授業づくりに関する研修の充実を図っていきます。

# 阪南市の英語教育

～はなんなんの子どもたちがワクワクしながら英語を学びます～

英語と楽しく出会います

## ★ 英語ミュージカル を、市内

### 全ての児童が、鑑賞します。

- ・劇団K10の英語劇『マグナとふしぎの少女』を、保護者・地域の方と一緒に、各小学校で鑑賞します。(小学校の後は、幼稚園(保育所)にも鑑賞を広げる予定です。)

- ・当日と鑑賞後の学習カリキュラムを編成します。
- ・学年別に、チャレンジする英会話を決めていきます。
- ・鑑賞後は、出演キャラクターを用い、ゲームなどを交えながら、英単語・英会話を学習します。
- ・先生やJET青年と、一緒に学びます。
- ・休み時間も、英語読書カルタで遊べます。
- ・さらに 英語学習アプリ を用いて学習します。

## 幼稚園(保育所)

～英語に触れる～

- ・英語劇やALTとの交流活動で英語に触れます。

- 阪南市教育大綱(平成30年4月策定)より
- (4) 自ら学びに向かい、考え、判断し、表現できる子どもを育てます。
- 阪南市教育基本方針(平成31年4月策定)より
- 重点目標: 言語活動の充実
- B 外国語(英語)教育の充実を図る
- (基本方針) \* 英語を使ってコミュニケーションを図ることができることのできる力の育成
- 阪南市教育委員の示す教育目標(平成31年4月策定)より
- 「私ができる」「私もだいじょうぶ」
- 先生方は、自信のある子を育ててほしい。

## 目標

- 積極的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ALTとの交流を通じて基礎的な英会話を身につけ、海外の文化についての理解を深める。
- 英語を「聞く」「読む」「話す」「書く」学習を総合的に深め、英語を実際のコミュニケーションに活用する力を身につける。

- ★ 12年間の英語学習で、中学校卒業までに、**英語検定3級**程度の学力を目指します。
- ★ 英語で世界と繋がります。

私はできる! 私もだいじょうぶ!

笑顔の英会話を身につけます。



### 中学校 ALT 4名(各校に1名)

～ 毎日 英語に接し、深く学び～

- ・英語指導助手(ALT)が常駐
- ・中学生は週4時間(年間140時間)の『外国語科』学習

### 小学校 ALT 4名(2校に1名)

～ 英語に親しみ・楽しく学び～

- ・全員が『英語劇』を鑑賞。当日と前後のカリキュラムで学習
- ・5～6年生は週2時間(年間70時間)の『外国語科』学習
- ・3～4年生は週1時間(年間35時間)の『外国語活動』学習

## ★JETコーディネーター

総合コーディネーターを配置し、ALTと教員をサポートします。(市内2名)

## ★阪南市外国語担当者連絡会

教員の指導力アップを図り、市の英語指導研究・研修を強化します。

## ★ JETプログラムにより、英語指導助手(ALT)を8名に増員します。

- ・阪南市教育委員会では、国のJETプログラムを活用し、令和2年度から外国籍の**英語指導助手(ALT)**を全小・中学校に配置することとしました。

- ・これにより、本市の各校で、小学校では35日(210時間)、中学校では180日(1080時間)、**英語指導助手(ALT)**による学習時間が増加します。

- ・英語指導助手(ALT)は市の会計年度任用職員として任用されることから、英語学習の時間だけでなく、園児・児童・生徒と交流したり、休み時間に一緒に遊んだり、各学校行事への参加も可能となります。
- ・特に、市内の**中学校全校**には、**英語指導助手(ALT)**が常駐することになり、毎日の学習・交流が深まります。

- ・また、**小学校**には週に2～3日**英語指導助手(ALT)**が派遣され、**保育所・幼稚園**での英語を使った交流日数が増えます。
- ・また、**英語指導助手(ALT)**は、地域に住み、地域の国際化にも寄与することが可能になります。

JETのALTは、地域ボランティア、市立図書館の英語多読活動、公民館の日本語教室、和泉鳥取高校のインターナショナルフェスティバルなどの連携など多くの可能性が広がります。



◆G20大阪サミットで、各国首脳配置者に、「はなんの海・アマル」について発表した阪南の子どもたち。市教育委員会は、現在、小学校3校の先生方や児童と共に、「海洋教育/イオニアスクールプログラム」により海洋教育に取り組みしています。夢の一つは、ブルーカーボンなど、地球環境保全の学習成果を、英語で、世界に向けて発信できる子どもが育つことです。

## 1-5 海洋教育を通して主体的に課題を解決する力を育みます (海洋教育パイオニアスクールプログラムの取組)

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、記述式の問題では正答率だけでなく、無解答率も高いといった課題が見られます。困難な課題に対しても自分なりの考えをもち、解決しようとする「学びに向かう力」を育むことが重要です。海洋教育では、海での活動を通して阪南市の自然のすばらしさを知り、その自然環境を守っていくために主体的、協働的な学習をすすめていくことにより、自ら課題を解決していく力をつけていきたいと考えています。

### 主な海洋教育の取組

- ・アマモ場の再生活動    ・海苔漉き体験    ・ワカメの収穫、調理実習
- ・地元の漁港関係者への聞き書き → 学習冊子「阪南市の漁師」の作成
- ・他学年、地域への取組の発信 → 学習冊子「はんなり海ものがたり」の作成
- ・海洋教育に係る教員研修会の実施（講演：NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター 岩井 専務理事）
- ・「全国アマモサミット2018in 阪南」で、全国の研究者や高校生の前で取組発表
- ・G20大阪サミットにおける配偶者プログラムで、世界首脳の前で取組発表
- ・海洋教育パイオニアスクールプログラムを活用した3小学校の取組
- ・「海洋教育実践報告会」の開催（講演：東京大学 日置 特任教授、NPO 海辺づくり研究会 木村 理事）



アマモ場の再生活動



全国アマモサミット  
2018in 阪南



G20 大阪サミット  
配偶者プログラム

### 成果と今後の方針

海での活動を通して、子どもたちは地域の海を知るとともに、地元の漁港関係者の方からの聞き取りなどにより環境保全への意識を高め、様々な場での思いを発信してきました。今後も海洋教育パイオニアスクールプログラムを活用し、地域の海を守るために自分たちに何ができるかを活動校同士で交流するなど、海洋教育に取り組むことで、主体的に課題を解決しようとする力を育んでいきます。

## 1-6 研究先進校の授業を視察し授業改革を前進させます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、阪南市の児童生徒は、知識の活用を問う記述式の問題に課題があり、教員が授業力をさらに向上させることが重要になっています。授業改革の推進にあたっては、教員自らが「授業を変えたい」と感じる内発的な動機が不可欠であり、近年、阪南市では、授業改善に積極的に取り組む先進校を視察することにより、主体的、協働的に学び合う子どもたちの姿やそれを引き出す授業者の手立てを直接見て学ぶ研修機会を増やし、教員一人ひとりの内側から沸き起こる授業改革への意欲を高めています。

### 主な視察実績

和歌山大学教育学部附属中学校授業視察（平成30年8月）

和歌山県有田市立宮原小学校授業視察（平成30年10月）

熊取町立熊取南中学校授業視察（令和元年6月）

貝塚市立南小学校授業視察（令和元年7月）

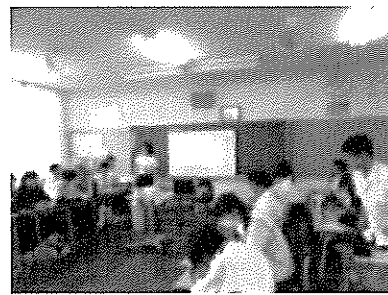
和歌山県有田市立宮原小学校授業視察（令和元年8月）

和歌山大学教育学部附属中学校授業視察（令和元年10月）

和歌山大学教育学部附属中学校授業視察（令和元年12月）

京都市立下京渉成小学校授業視察（令和2年2月）

京都市立朱雀第七小学校授業視察（令和2年2月）



### 成果と今後の方針

先進校視察で得た知見を自身の授業に取り入れ、授業改革を進めようとする意欲的で活発な動きが出てきており、実際に自分の授業の改善に取り組む教員が増えてきたことは大きな成果となっています。一方、具体的に授業改善を進めようとするれば教員が壁に当たるのも事実であり、今後は市教委指導主事による訪問支援や先進校の元校長等をアドバイザーとして派遣することなどにより、教員一人ひとりの授業改善、学校の授業改革をさらに後押ししていきます。

## 1-7 公開研究授業により授業改善の成果を波及します (大阪府教育庁スクール・エンパワーメント推進事業の取組など)

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査における阪南市の状況は、小・中学校ともにいずれの教科においても全国平均をやや下回る結果となっており、学校を挙げて新学習指導要領がめざす授業づくりを前進させ、学力向上につなげることが大切です。近年、阪南市では、大阪府教育庁によるスクール・エンパワーメント(SE)推進事業を活用し、同じ市内の学校が一丸となって授業改革を進める姿やその校内体制づくりを直接見て学ぶ機会を増やすことをねらいとして、SE校による公開研究授業を実施しています。

### SE推進校による主な公開研究授業の実績

貝掛中学校公開研究授業（平成30年11月）

テーマ「学びの共同体への取組を推進し、子どもたちの主体的な学びを生み出す授業の研究」

東鳥取小学校公開研究授業（平成31年1月）

テーマ「話したい！ききたい！やってみたい！子どもたちが主体的になれる授業づくり」

尾崎小学校公開研究授業（平成31年2月）

テーマ「ときどき！わくわく！まえのめり！学びに向かう力を育む授業づくり」

尾崎小学校公開研究授業（令和元年6月）

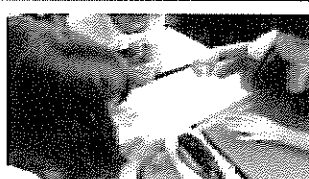
テーマ「ん〜… あ！そうか！なるほど！自力で取り組み 友と深める 算数学習」

上荘小学校公開研究授業（令和元年9月）

テーマ「ペアやグループ活動を通して、自分の考えを整理し、表現する学習活動の実践」

鳥取東中学校公開研究授業（令和元年11月）

テーマ「ともに学ぶ授業をめざして〜ペアやグループ（班）学習を通して、学び合う授業の実践〜」



### 成果と今後の方針

公開研究授業参加者から「学校の変化、子どもたちの変化を実感した」という感想をよく聞きます。また、公開研究授業実施校の教員を講師として招いた研修会を開催した学校もあります。同じ阪南市の学校の変化を直接見て学びあうことは大きな刺激となります。今後も公開研究授業を継続し、授業改善の研究成果を広く市域の学校に波及し多くの教員で共有することにより、市全体の授業改革のいっそうの推進を図ります。



## 1-8 学力向上研修により各校の授業研究の質を向上させます

### 課題意識

平成 31 年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、思考力・判断力・表現力を問う記述式問題への対応は大きな課題です。新学習指導要領では、これからの近未来社会を「変化の激しい予測が困難な時代」と捉えています。今、私たちが目の前にしている子どもたちは、その時代の真直中を生き抜いて行かなければならない世代です。自ら学びに向い、自ら考え、判断し、表現する力、この新しい学力感に立脚した授業づくりの充実を図っています。

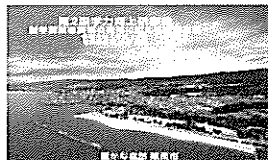
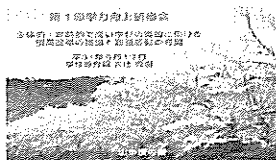
### 学力向上研修について

各小・中学校の学力向上担当者悉皆研修

<これまでの主な研修内容>

- ・新学習指導要領改訂の背景・趣旨等学習
- ・新学習指導要領の期待に応える授業づくり研究
- ・学力調査の結果の詳細分析交流
- ・先進校の授業実践紹介
- ・大阪府スクール・エンパワーメント事業実施校の実践研究
- ・自主学習ノートの取組研究
- ・学校種別、中学校区別情報交換・協議会

これまでの学力向上研修資料



### 成果と今後の方針

明治の学制以降150年来の改革と言われる今回の教育改革について、各校の学力向上担当者に深く理解してもらい、校内研究体制を充実させ、研究の質を高めることがまず大切なことだと考えています。各校で授業改善が進んでおり、今年度の学力調査において、全国平均を大きく上回る結果を出した学校も複数校ありました。今後の教育のあり方を大きく変える、人工知能、グローバル化、人口減少など、教育改革の背景にある急激な社会の変化を深く理解するように求めた成果として、教員の授業改革への意欲が高まったことは一つの成果であると考えています。今後も学力向上担当者が中心となって各校の授業改革を前進させることができるよう、新しい学習指導要領に係る最新の動向とポイントを整理し、今何をすべきかをわかりやすく伝えます。



# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革

## 授業づくりプラン

(平成31年4月11日作成)

「私ができる」

「私もだいじょうぶ!」

全ての子どもが自分らしく輝いて  
参加し続けられる授業をめざして



主体的  
対話的で  
深い学び

学びを自覚し次につなげる

\*振り返る活動の充実\*

考えを広げ、深める

\*対話的・協同的な学びの充実\*

児童生徒の学習意欲を高める

\*わくわくする導入と課題設定の工夫\*

本時の目標の明確化

\*この時間につけるべき力をはっきりさせる\*

育成をめざす資質・能力を明確にした単元構想

\*単元のゴールを明確にし、学習指導要領解説で指導事項を確実に捉える\*

学びのインフラ

\*学習規律の確立

\*児童生徒理解

\*小中連携を活かした指導の充実

\*安心して過ごせる集団づくり

\*ユニバーサルデザインの視点

\*教科横断的な視点

\*生活習慣の改善と家庭学習の充実

\*読書活動の充実

\*地域の人材・教材の活用

全ての教科で  
言語活動を充実!

## 1-9 指導主事がチームを組み校内授業研究を支援します

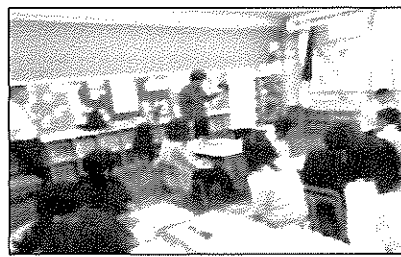
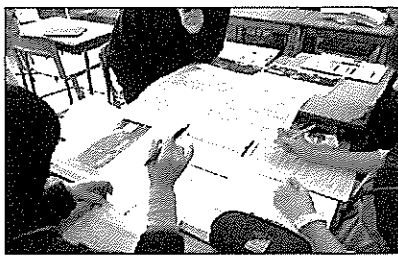
### 課題意識

全国学力・学習状況調査において、各学校が安定した結果を出すには、校内体制を整備し、学校全体で学力向上に取り組むことが大切です。各学校が新学習指導要領に対応した授業づくり、学校づくりを意欲的に進め、子どもたちの学力向上につなげられるよう、市教育委員会の指導主事が直接学校を訪問し、校内研修を支援しています。

### 平成31年度の主な校内研修（授業研究）指導助言実績

上荘小学校	算数科授業研究	授業参観・指導・助言	(6月21日)
貝掛中学校	英語科授業研究	授業参観・指導・助言	(10月8日)
桃の木台小学校	国語科授業研究	授業参観・指導・助言	(10月16日)
尾崎幼稚園	公開保育研究	保育参観・指導・助言	(10月23日)
西鳥取小学校	算数科授業研究	授業参観・指導・助言	(10月24日)
小学校教育研究会	一斉部会	授業参観・指導・助言	(11月6日、9日)
上荘小学校	算数科授業研究	授業参観・指導・助言	(11月20日)
朝日小学校	算数科授業研究	授業参観・指導・助言	(11月26日)
朝日幼稚園	放送教育研究	保育参観・指導・助言	(11月26日)

### 校内研修（授業研究）の様子



### 成果と今後の方針

子どもたちの学力課題の解決や教員の授業力向上をめざして、阪南市の学校では、校内研修として授業研究に取り組んでいます。新学習指導要領の期待に応える授業づくりとして、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を推進し、年に複数回の授業研究を実施しており、そこに指導主事が参加し、指導案検討、授業参観、指導・助言等にあたっています。市教委として、今後、授業改革のための支援チームを編成し、年に1回以上すべての学校に対し、学力向上のための訪問支援を実現したいと考えています。

## 1-10 教育フォーラムを開催し授業改革を実現します

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、阪南市の子どもたちの学力には依然として課題が多く見られます。阪南市では、例年「教育フォーラム」を開催し、市内の幼・小・中の教員が一同に会し、学力向上、授業改善、小中連携等をテーマとして、各中学校区を単位とした小中連携のもとで行われた実践発表を聞き、市内教員が全員で学びあう機会としています。

### 近年の実績

#### 平成29年度 阪南市教育フォーラム

テーマ「表現力豊かな子どもを育む授業づくり」

実践発表校：飯の峯中学校・桃の木台小学校

講演：和歌山大学教育学部 江利川 春雄 教授

#### 平成30年度 阪南市教育フォーラム

テーマ「表現活動を通じ自らの思い・考えを伝え、児童・生徒同士の絆づくりをめざす取組について」

実践発表校：貝掛中学校・下荘小学校・舞小学校

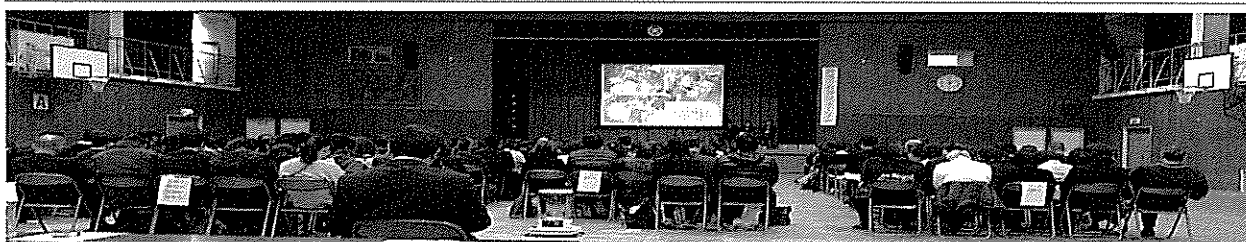
講演：和歌山大学教育学部 江利川 春雄 教授

#### 平成31年度 阪南市教育フォーラム

テーマ「子どもの主体性を育むために ～つながり、支える三校連携～」

実践発表校：鳥取東中学校・東鳥取小学校・朝日小学校

講演：京都女子大学発達教育学部 水戸部 修治 教授



### 成果と今後の方針

近年の教育フォーラムでは、新学習指導要領の期待に応える授業づくりに焦点をあて、子ども同士のつながりを大切にし、思いや考えを伝え合い、学び合い、深め合う授業のあり方について幼・小・中の教員全員で共に学びあう機会としてきました。これにより、実践発表校において紹介された取組が他校に広がり、講演の中で紹介された先進校へ多くの教員が視察に訪れるなど、教育フォーラムは効果を生んでいます。今後も継続して開催し、阪南市教育委員会としての方向性を示すとともに、全ての教員が新たな授業づくりを共有する機会としていきます。

## 1-11 少人数指導により、きめ細かな指導の充実を図ります (全ての子どもに確かな学力を育成するために)

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、阪南市の児童・生徒の学力には個人差が大きく、この差を縮める指導の工夫が大切となっています。その改善の工夫のひとつとして、児童・生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導の充実を目的とした少人数指導を実施しています。一つの学級を複数の教員で指導するチームティーチングや、習熟度や課題によって一つの学級を少人数の学習集団に分けて行う指導を、いっそう充実させていきます。

### 各校の少人数指導の工夫

#### ○チームティーチング（TT）

一つの学級集団に対して複数の教員で授業を展開する指導の工夫

#### ○習熟度別分割授業

児童・生徒の理解度や習熟度に応じて複数のコースを編成し、授業を展開する指導の工夫

#### ○課題別等分割授業

児童・生徒の興味関心や学習課題に応じて複数のコースを編成し、授業を展開する指導の工夫

少人数指導の様子



### 成果と今後の方針

一つの学級を複数の教員で指導する入りこみにより児童・生徒の一人ひとりにより適切な指導を行ったり、複数授業者によるバリエーション豊かな授業展開で、個や集団に応じた指導法を蓄積してきたことは大きな成果と言えます。今後もさらに少人数指導を発展させ、児童・生徒にきめ細かく指導を行い、「よりわかりやすく、より楽しく学ぶことのできる授業」を進めていきます。また、市の施策である子ども支援員配置事業を拡充し、支援の必要な子どもへのきめ細かな指導を行います。さらに、国や大阪府の事業を活用しながら、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うスクール・サポート・スタッフの配置をめざし、教員の負担軽減にもつなげていきます。

## 1-12 初任者の指導力向上をめざす校内体制の整備を図ります (教育委員・指導主事・指導教諭による授業参観、指導・助言)

### 課題意識

阪南市の教育を支えた経験豊かな教員が大量退職し、経験年数の少ない教員が大量に採用となってきた昨今、初任者教員の育成充実は喫緊の課題です。阪南市では、初任者教員の研究授業に、教育委員会指導主事や指導教諭に加え、市の教育委員も授業を参観し、初任者に指導・助言を行っており、教員としての資質・能力の向上を図っています。

### 初任者学校訪問 令和元年度（平成31年度）

#### 春の初任者訪問（令和元年5月～6月）

- ・初任者10名、2年目教員7名、講師5名
- ・教育委員、指導主事が2～5名で授業参観、指導助言

#### 秋の初任者訪問（令和元年9月～11月）

- ・初任者9名、2年目教員1名、講師1名  
（各校での校内研修、小・中学校教育研究会での研究授業で多くの若手教員が実践）
- ・教育委員、指導主事に加え、各校の指導教諭も指導助言
- ・初任者が他校種の授業を見学し、感想の交流

#### 初任者教員による研究授業を参観する様子



### 成果と今後の方針

初任者教員に対する授業参観、指導・助言は、指導案の作成の仕方、評価の在り方、授業の組み立て方といった基本的なことを中心に、教育委員会から直接、初任者に指導・助言できる機会として大変貴重です。今後はさらに、授業参観や事後討議に各校の管理職やミドルリーダーが参加するなど、初任者教員を支える校内体制の整備を進めるとともに、校長経験者等による初任者教員への支援を充実し、初任者教員の指導力や資質の向上を図ります。

## 1-13 学校図書館専任司書との連携により読書活動を言語能力の育成につなぎます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査における分析では、「学校図書館の利用状況」「読書が好き」かどうかを尋ねる項目において、小学校ではよい結果が出ていますが、中学校では課題が見られます。本に触れ、本に親しむための橋渡し役として、児童・生徒と学校図書館とを結びつける存在の学校図書館専任司書の存在が大きな役割を果たしています。学校図書館には、「読書・学習・情報」の3つに携わる役割があり、学校図書館が充実することで、「読書好きの子どもを増やす、情報活用能力を育む、子どもの居場所となる」よう一層の充実を図ります。

### 学校図書館専任司書研修の実績

課題図書に関連本の紹介（令和元年7月 「学校図書館だより夏休み号」より）

- ・課題図書に関連付けて、「同じ作者の別の本」「同じジャンルの別の本」「同じキーワードの別の本」を、司書で分担して探し、学校図書館便り夏休み号で紹介

書籍を活用した平和学習についての実践交流会（令和元年9月 第7回司書研修）

- ・夏休みの登校日や修学旅行前に平和学習を行う際、担任から依頼を受けて書籍を探して借りてくるだけでなく、司書から『こんな本もありますよ』と情報提供を行っている

学校図書館システムの効果的な使い方についての講習会（平成31年4月、令和元年6月）

- ・市の小中学校統一の学校図書館システム（泉南地区の市町では、阪南市だけ）の効果的な活用の仕方を学ぶ講習など、学校図書館専任司書研修を年間10回実施し、司書の資質を高める

『週に1回以上学校図書館や市立図書館を利用する児童・生徒の割合』全国学力・学習状況調査より

小学校	阪南市	大阪府	全国	中学校	阪南市	大阪府	全国
H31	16.8	11.3	17.2	H31	10.3	6.6	8.3

『読書が好きであると回答した児童の割合』全国学力・学習状況調査より

小学校	阪南市	大阪府	全国	中学校	阪南市	大阪府	全国
H31	47.4	43.7	44.3	H31	33.7	34.0	38.9

### 成果と今後の方針

上記の他にも、新刊児童書の選書、図書館流通センター見学など様々な研修を重ね、学校図書館の3つの役割に関する機能が充実してきました。今後は、学校図書館専任司書の専門性や学校図書館の機能を生かした授業を、教員と司書とが連携して構築し、多くの書籍にふれながら学習を重ねることで、言語能力を育成し、学力向上につなげます。

## 1-14 学校図書館を充実・活用するためのモデル事業を推進します

### 課題意識

近年の全国学力・学習状況調査の結果から、阪南市では、各教科の学力向上のために言語能力を高めることが課題となっています。そこで、大阪府教育庁によるスクール・エンパワーメント推進事業の一つである「GTM（学校、図書館、モデルの頭文字）事業」を活用し、「子どもたちが本に親しむ機会を増やす」「学校図書館を活用した授業を充実させる」「学校図書館の充実に向けた環境整備を行う」ことをめざしています。

### GTM 実践校による主な実績

SE 推進事業に係る桃の木台小学校訪問（令和元年5月28日）

テーマ「ビブリオバトル」

令和元年度 第1回学校図書館を活用した授業づくり連絡会（令和元年6月27日）①

GTM 校（八尾市立安中小学校）テーマ「学校図書館を活用した授業（国語：書籍の探し方）」

ビブリオバトル（書評合戦）研修 桃の木台小学校事例発表（令和元年8月8日）②

テーマ「ビブリオバトルをしよう！」

SE 推進事業に係る桃の木台小学校訪問（令和元年9月19日）③

テーマ「学校図書館を活用した授業（理科：月や星の動き）」

令和元年度 第1回学校図書館を活用した授業づくり連絡会（令和元年11月27日）

GTM 校（和泉市立北松尾小学校）テーマ「学校図書館を活用した授業（国語：食品のひみつをさぐる）」

SE 推進事業に係る学校訪問兼公開研究授業（令和2年2月予定）

GTM 校（阪南市立桃の木台小学校）テーマ「学校図書館を活用した授業」

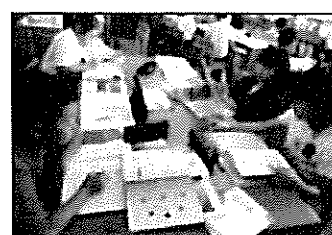
①



②



③



### 成果と今後の方針

「様々な教科、学習に学校図書館は活用できる」という学校図書館のポテンシャルを再認識できました。今後は研究校の先進事例をもとに、学校図書館を活用した「自ら学ぶ」調べ学習の年間計画を各校の教育課程に組み込み、まとめ学習や考えの発表といった言語活動の充実を通して、学力の向上につなげます。



## 2-1 生徒会サミットにより主体性を育み自己有用感を高めます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、本市の子どもたちが人の役に立ちたいと肯定的回答をした児童生徒の割合は、全国と比べて差がありませんでした。しかし、自分には良いところがあると回答する児童生徒の割合は全国と比べて小学校、中学校ともに低い割合となっています。阪南市では、子どもたちが自分への自信に満ちてより良い社会の担い手となるため、自主・自律の力を伸ばす場として阪南市中学校生徒会サミットを開催しています。

### 主な実績

広報はんなんで、阪南市中学校生徒会サミットの取組を紹介

生活改善リーフレットで、サミットで話し合った、携帯・スマホ・ネット使用の大切なことを紹介

大阪府中学校生徒会サミットに参加（令和元年11月9日）

阪南市中学校生徒会サミット開催（第1回：令和元年11月18日 第2回：令和元年2月14日）



広報はんなん（H31.1月号）

#### 平成30年度 読者の中学生が考えた

#### スマホ・ケータイ・ネットの使用での大切なこと

- 個人情報（自分でやる、漏出させない）
- 相手の気持ちを考える、いじめに関するルール
- メッセージのやり取りに気を付ける、送信前に確認する
- ルールを作ろう、マナーを守ろう。  
(謝罪をする、謝意をしない、テスト期間中は保護者に知らせる)
- 大事なことは直接伝える、直接の関わりを大切に
- 大人に相談、相談にだまされない
- 知らない人と関わらない

サミットで生徒たちがまとめたスマホ・ケータイ・ネットの使用での大切なこと



H31・市本会議場で行った生徒会サミット

### 成果と今後の方針

平成30年度には、いじめをなくすための取組として、5中学校で「ゆるキャラづくり」や全員参加のビッグアートを作成し、「広報はんなん」で紹介することができました。また、平成31年度は、中学校生徒会サミットでの協議を通じ、スマホ・ケータイ・ネット使用の上で注意すべきポイントをまとめ、生活改善リーフレットで広く市内に発信することができました。今後も各校の生徒会役員や児童会役員が交流する機会を増やし、児童・生徒が自らより良い学校づくりを進めていけるよう支援して、児童・生徒の自己肯定感、自己有用感の向上を図ります。



## 2-2 人権教育を通じて「学びに向かう力」を充実させます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対する阪南市の子どもたちの回答は、全国と同程度の数値でした。阪南市の教員は自校で行われる人権研修はもちろん、市主催の各人権教育研修、またこの阪南市・泉南郡三町人権教育研修会で研鑽を積んでおり、ここで自らの人権意識の向上を図り、またそれを子どもたちの指導に生かしています。教育委員会は、教員の人権意識を磨くために、研修の工夫改善に努めています。

### 過去の阪南市・泉南郡三町人権教育研修会での講師及びその講演テーマ

平成29年

講師：二羽 泰子 さん（東京学芸大学 児童生徒支援連携センター専門研究員）

テーマ：「ともに学び ともに育つ」学校づくり、学級づくり

平成30年

講師：沖本 和子 さん（大阪多様性教育ネットワーク）

テーマ：「多様性を尊重した安心の教室づくり～一人ひとりのもちあじを活かして～」

平成31年

講師：橋本 正二郎 さん（泉佐野市人権推進課）

テーマ：「人権は暮らしの中に」



会場となるサラダホール

### 成果と今後の方針

阪南市・泉南郡三町（熊取町・田尻町・岬町）人権教育研修会は、同和教育をはじめとする人権教育の深化と充実を図ることを目的とし、毎年、幼小中の全教員の参加のもと、阪南市を会場に開催されています。これからは、授業の中でも、子どもたち一人ひとりの人権が大切にされ、互いを尊重し合い、認め合える児童・生徒の育成をめざし、共に学び、共に育つ学校園づくりに尽力しながら、すべての子どもの「学びに向かう力」や「人間性を育む教育」を充実させていきます。

## 2-3「考え、議論する道徳」を通して自尊感情を育みます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「自分には、よいところがあると思いますか」という問の肯定的回答は、小学校では昨年度から横ばいの状態であり、全国との差はほとんどありません。しかし、中学校においては昨年度、全国を6ポイント上回っていましたが、今年度は全国を約4ポイント下回っています。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、対話を通して多面的・多角的に考え、議論する道徳の授業を実現し、子どもの自尊感情を育むことに取組みます。

### 道徳教育について

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性をやしなうことを目標としています。道徳性とは、『よりよく生きるための基盤』となるものであり、学校の教育活動全体を通じて養っていくものです。

平成30年度

○教科書を用いて、小学校『特別の教科：道徳』開始【年間35時間（1年生は34時間）】

平成31年度

○教科書を用いて、中学校『特別の教科：道徳』開始【年間35時間】



小学校『特別の教科 道徳』教科書



中学校『特別の教科 道徳』教科書

### 成果と今後の方針

平成31年度の全国学力・学習状況調査の中学生の結果をみると、「自分には、よいところがあると思いますか」には課題が見られますが、同一集団で比べてみると、4ポイントの上昇が見られます。これまでの成果を活かしながら、今後は、新学習指導要領にある「考え、議論する道徳」の充実に向け、子どもたち一人ひとりが自己を見つめ、物事を広い視野から、多面的・多角的に考え、自らの人間としての生き方を深められるように特別の教科・道徳の充実を図ります。また、全ての教科や時間で、多様な価値観を前提として、子どもたちが対話し、互いの考えを認め合う授業づくりを進め、子どもたちの自尊感情を高めていきます。

## 2-4 地域社会とともに新しい時代に必要となる力を育みます

### 課題意識

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対する肯定的な回答について、中学校では全国平均と同等かそれ以上の高い数値を示していますが、小学校では、全国平均を下回る結果となりました。新学習指導要領がめざす「社会に開かれた教育課程」の実現をめざし、地域と連携・協働しながら、新しい時代に求められる子どもたちの資質・能力の育成を図ります。

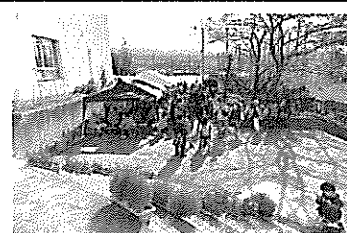
### 地域教育協議会の主な取組

#### ○各地域教育協議会

名称	学校区	主な交流行事
はーとりネット	鳥取中学校区	はーとりふれあいフェスタ
街角ふれあい協議会	貝掛中学校区	子どもとはっぴいデー
WAVE OZAKI 協議会	尾崎中学校区	WAVE OZAKI フェスティバル
さわやか鳥東ネット	鳥取東中学校区	さわやかふれあいデー
りんくる桃の木台	飯の峯中学校区	サンサンパーティー

#### ○参加諸団体

- ・自治会 ・老人会 ・婦人会 ・青少年指導員会 ・校区福祉委員会 ・漁業協同組合
- ・高等学校 ・教職員 ・PTA ・各校生徒会、児童会 ・地域の有志の皆さん 等



### 成果と今後の方針

阪南市の各地域教育協議会では、フェスタの開催や登下校の安全見守り活動、あいさつ運動、地域の清掃活動など様々な活動を展開しており、学校・子ども・家庭・地域の連携・協働を通して人と人とのつながりを深めています。これまでの成果を土台とし、今後は、新学習指導要領がめざす「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校での学びを日常生活で活用したり、家庭や地域での経験を学校生活に活かしたりなど、学習のフィールドを地域に広げ、「地域課題の解決に子どもが挑戦する態度」や「多様な人々と協働する能力」など、新しい時代に必要となる力を地域社会とともに育んでいきます。

